

セキュアアプリケーションアーキテクト

▶ 対象

- アプリケーションのセキュリティ機能の設計を担当する開発担当者または開発リーダー

▶ 資格取得後のスキルセット目標

- アプリケーションの全体的なセキュリティ設計を行うことができる。
 - ・ アプリケーションのセキュリティ要件定義書に基づき、トレードオフ分析を行うことができる。(アーキテクチャの選択、機能とセキュリティ、ユーザビリティなど)
 - ・ アプリケーションの設計レベルでの STRIDE/DREAD などの手法を用いたリスク分析に基づいてリスクの軽減を計画することができる。
 - ・ アプリケーションのセキュリティ要件定義書とリスク分析に基づき、外部・内部設計においてセキュリティ機能の設計を行うことができる。(ユーザロール、権限など共通概念及びアーキテクチャなど一部開発言語依存も含む)
- アプリケーションのテスト要件に基づき、アプリケーションのセキュリティ実装テスト仕様書を作成することができる。

▶ 教育カリキュラム・試験出題項目

- トレードオフ分析 (ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、技術、費用、ビジネスプロセス)
- リスク分析によるリスクの特定と軽減の計画 (STRIDE/DREAD)
- リスク対策の選択 (設計レベル・言語依存のセキュリティパターンの適用)
- 設計レベル・言語依存のセキュリティベストプラクティス知識 (アクセス制御、特権の最小化、攻撃方法、暗号システム、認証技術、パスワード・アカウント管理、アプリケーション保護技術、ネットワーク保護技術、ログ監視技術、マルウェア、デジタル署名技術)

▶ 試験で問う知識

- STRIDE・DREAD 分析が可能かを問う。
- 設計レベルでのセキュリティパターンを把握しているかを問う。
- 設計レベルでのセキュリティベストプラクティスを把握しているかを問う。